

オープン型電子出版 UI（文字拡大機能）に関する仕様案

オープン型電子出版 UI（文字拡大機能）に関する仕様案は次のとおりである。

1. 本仕様案の対象読者

- 電子出版サービスに合わせた UI・機器を開発・提供しているソフトウェアメーカー、ハードウェアメーカー、電子出版書店。

2. 仕様案策定の背景、課題

- 電子出版を閲覧する機器は、LCD（液晶）画面や電子ペーパー画面を搭載するものなど多数存在するが、文字拡大のサイズ、文字拡大機能の操作方法などが機器ごとに異なり、ユーザーのアクセシビリティを損なう結果となっているため。

3. 仕様案によって解決される課題

- 異なる端末においても、ユーザーが読みやすい共通化された文字サイズが表示される点。
- 異なる端末においても、ユーザーが操作しやすい共通化された文字拡大機能が実装される点。

4. 文字サイズ

- アクセシビリティに考慮したビューアでは、文字拡大機能における文字サイズとして表 3-7 の数値以上に拡大できること。

表 1 推奨する文字サイズ

平仮名	2.9 mm
漢字	3.0 mm
英字	2.3 mm
ルビ	1.1 mm

5. 操作方法

- 操作レスポンスの性能が高いビューアでは、より直観的に文字を拡大・縮小できるピンチ操作の対応を推奨。
- 操作レスポンス性能が低いビューアでは、段階拡大操作の対応を推奨。但し、文字を拡大する機能の入口を示す名称やアイコンは機器によらず統一することが望ましい。